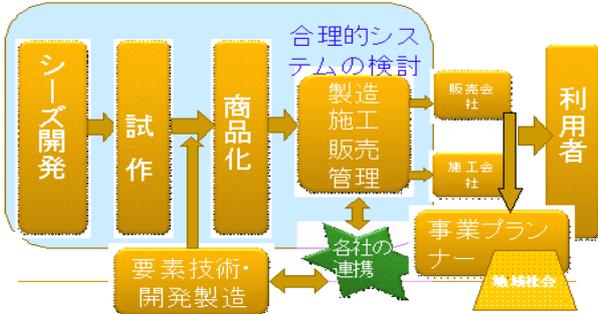


# 再生可能エネルギー事業 に関する人材育成



## 1. 再生可能エネルギー事業に関する人材の必要性

再生可能エネルギー分野は広範な学問領域で、かつ1つの再生可能エネルギー事業の事業化の過程にも第1図に示すような多くの過程に関与する優れた人材が必要になる。

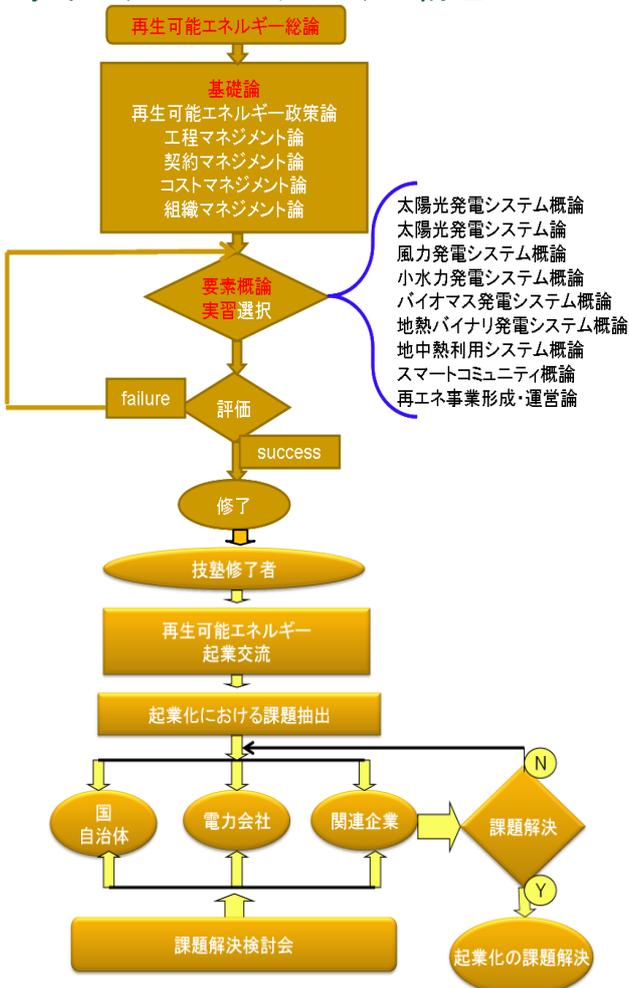


第1図 再生可能エネルギー事業展開における必要な人材

## 3. 事業プランナー育成事業

現在、再生可能エネルギー事業を急速に推進するためには、魅力のある新たなシーズや技術の開発が重要であるが、既存技術を利用した再生可能エネルギー事業の展開も急速な事業推進には必要である。こうした観点から再生可能エネルギー事業を推進する人材育成として「事業プランナー」の育成を第3図のカリキュラムを開発して2013年度から実施している。

### 事業プランナーカリキュラム構造

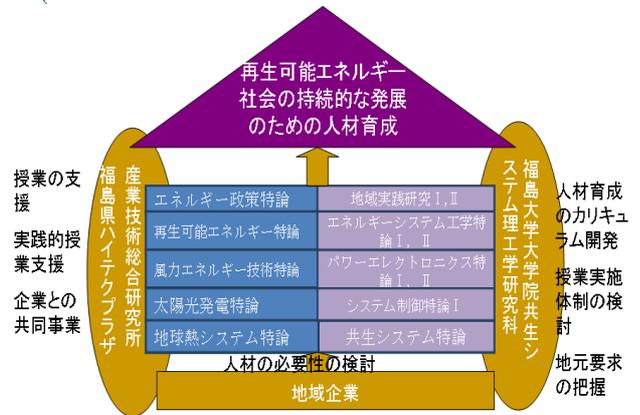


第3図 事業プランナー育成事業カリキュラム構造

## 2. シーズ・技術開発人材育成

シーズや技術開発は、大学院生を中心に、地域イノベーション戦略支援プログラム参加4大学が招聘研究員とともに実施することで実践的なシーズ・技術開発者を育成する。福島大学ではそれとは別に、共生システム理工学研究科博士前期課程に第2図に示す分野を2012年から新設し、産業技術総合研究所の教育支援のもとに実施している。

### 再生可能エネルギー分野 (福島大学大学院博士前期課程カリキュラム)

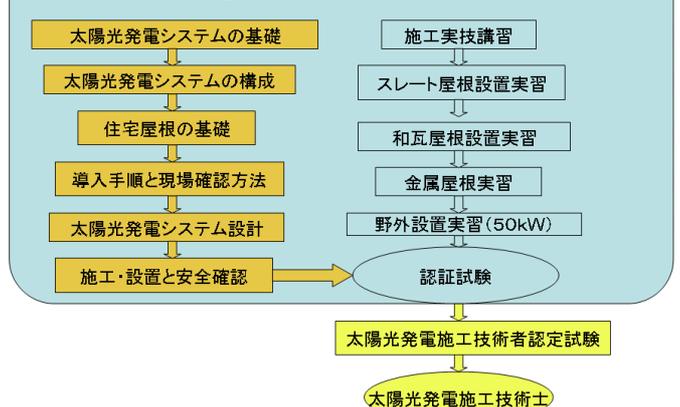


第2図 福島大学大学院共生システム理工学研究科博士前期課程再生可能エネルギー分野のカリキュラム事例

## 4. 施工管理技術者育成事業

すでに施工・管理技術者養成については、福島県産業人材育成課が中心になって各専門学校を支援する形で実施している。一方、太陽光発電協会が長期保証制度との関連で全国的な太陽光発電施工技術士認定試験制度を確立している。こうした状況を踏まえて、第4図に示すような認定試験に合格するための講座を準備することにした。また、太陽光発電協会の認定では家屋設置の技術者養成のため野外設置の実習はしないが、この講座では福島発電所が計画している50kWクラスの野外実習も計画している。

### 太陽光発電施工技術士育成講座



第4図 太陽光発電施工技術士育成講座カリキュラム構造